

2025年度

K 1

国 語

人 文 社 会 科 学 部（社会学科，言語文化学科）

2月25日（火） 教 育 学 部（学校教育教員養成課程）

【音楽教育・美術教育・保健体育教育専修は除く】

【前 期 日 程】

15 : 20～16 : 40

グローバル共創科学部

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで，問題冊子，解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って，全部の解答用紙（4枚）に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は，9ページあります。はじめに，問題冊子，解答用紙を確かめ，枚数の不足や，印刷の不鮮明なもの，ページの落丁・乱丁があった場合は，手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については，下記の点に留意すること。

- ・書き出しは，一マスあけない。
 - ・句読点及び括弧等はそれぞれ一マスとする。
 - ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」等は一マスで使う。
- 6 問題は，声を出して読んではいけません。
- 7 各問ごとの配点は，比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子は，必ず持ち帰りなさい。

1

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(配点六〇%)

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

**著作権の関係上、
公表しません。**

(山本圭『嫉妬論』による)

問一 傍線部(ア)～(オ)のカタカナの部分に漢字に改めなさい。

問二 傍線部A「自らを偽装する」とはどういうことか、説明しなさい。

問三 傍線部B「嫉妬者の振る舞いはイレギュラーなものに映る」とあるが、筆者はこの理由をどのように説明しているか。本文中の語句を用いて説明しなさい。

問四 傍線部C「私たちは自分より何百年も過去に生きた人に嫉妬することは稀である」とあるが、なぜそう言えるのか。本文の内容に即して、説明しなさい。

問五 傍線部D「嫉妬者はそれに我慢できない」の「それ」が指示する内容を、本文中から五字以内で抜き出しなさい。

問六 波線部「相対的剥奪」が生じる具体的な状況や場面を挙げながら、相対的剥奪とはどのようなものか、あなたの考えを述べなさい。三〇〇字以内でまとめること。

2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(配点二〇%)

嵯峨天皇と弘法大師とつねに御手跡をあらそはせ給ひけり。或る時、御手本をあまた取り出させ給ひて、大師に見せまゐらせられけり。その中に殊勝の一卷ありけるを、天皇仰せごとありけるは、「これは唐人の手跡なり。その名を知らず。いかにもかくは学びがたし。めでたき重宝なり」と、頻りに御秘蔵ありけるを、大師よくよくいはせまゐらせて後、「これは空海がつかうまつりて候ふものを」と信用なし。大きに御不審ありて、「いかでかさる事あらん。当時書かるる様に、はなはだ異なるなり。梯たててもおよぶべからず」と勅定ありければ、大師、「御不審まことにその謂候ふ。軸をはなちてあはせ目を覧候ふべし」と申させ給ひければ、則ちはなちて御覧するに、「その年その日、青龍寺においてこれを書す、沙門空海」と記せられたり。天皇この時御信仰ありて、「誠に我にはまさられたりけり。それにとりて、いかにかく当時のいきほひにはふつとかはりたるぞ」と尋ね仰せられければ、「その事は国によりて書きかへて候ふなり。唐土は大国なれば、所に相応していきほひかくのごとし。日本は小国なれば、それにしたがひて当時の様をつかうまつり候ふなり」と申させ給ひければ、天皇おほきに恥ぢさせ給ひて、そのちは御手跡あらそひけり。

(『古今著聞集』による)

(注) ○青龍寺——唐の都・長安にある寺。空海(弘法大師)はかつて遣唐使船で入唐し、青龍寺で仏教を修めた。

○沙門——僧侶や出家者のこと。

問一 波線部(a)～(d)の助動詞の中から意味の異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

問二 空欄 A・B に入る最もふさわしい語を、それぞれの語群から一つずつ選び、適切に活用させた形で答えなさい。

A	啓す	のたまふ	仰す	奏す
B	めでたし	つれなし	なし	多し

問三 傍線部①「天皇さらに御信用なし」とあるが、その理由を具体的に説明しなさい。

問四 傍線部②「日本は小国なれば、それにしたがひて当時の様をつかうまつり候ふなり」を、「様」の指すものを明らかにして現代語訳しなさい。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。設問の都合で、返り点や送りがなを省略したところがあります。(配点二〇%)

① 少時読書、能記憶、而苦於無用。中年読書、知有用、而患於遺忘。故惟有

著書一事。② 不惟經自己手筆、可_中以不忘、亦且因之、搜閱簡編、遍及幽僻、

向所忽略、③ 今尽留心、敗筭・蠹簡、皆為我用。始知藏書之有益、而悔向來用

功之蹉跎也。

(『五雜俎』による)

(注) ○簡編——書物のこと。

○幽僻——遠く離れたところ。人の気づかなかったところのたとえ。

○忽略——意を払わないこと。

○敗筭・蠹簡——破れた箱と虫食いの竹札。つまらない書物のたとえ。

○向來——以前から今まで。

○蹉跎——つまづくさま。途中で失敗するさまのたとえ。

問一 傍線部①を書き下し文にしないさい。

問二 傍線部②を現代語訳しないさい。

問三 傍線部③にある「藏書之有益」を知るにいたったのはどのような経験からか、本文の内容に即して説明しないさい。

正解・解答例

教科・科目名	国語（前期日程試験：令和7年度） 1 / 2	問題番号	K 1
対 象 学 部 ・ 学科(課程)等	人文社会科学部（社会学科、言語文化学科）、教育学部（音楽教育専修、美術教育専修、保健体育教育専修を除く各専攻・専修）、グローバル共創科学部		
1 6 0 % 採点時の配点 1 2 0 点	問 1 （ア）秘匿 （イ）名誉 （ウ）多寡 （エ）戒 （オ）辛抱 問 2 嫉妬という感情があっても容易に認めなかったり、嫉妬対象の価値を否定したりして他人に知られないようにすること。 問 3 社会学的な見方では、行為者は自分の利益を最大化しようとする合理的な主体と捉えられ、モデル化されているが、嫉妬者は功利主義的な快樂計算にはしたがわず、自分が損をしてでも他人の不幸を願うから。 問 4 嫉妬は、時や場所や年配、世の評判など、何らかの観点から嫉妬者に近い人物に向けられるものであり、比較可能でない相手には感じないから。 問 5 他人の成功 問 6（解答例） 高校の部活動でサッカー部の私は、毎日の厳しい練習に参加し続け、実力をアピールして監督に認めてもらい、ついにレギュラーの座を獲得した。ところが、練習にあまり参加していなかった新入生も、足が速いという理由でレギュラーに抜擢された。私がレギュラーから外されたわけではないが、努力の積み重ねが無駄になった気がして、不利益を被ったように感じた。そればかりかその新入生に辛く当たってしまいそうになった。この例から、相対的剥奪とは、自分の利益が減らなくても、身近な他者との比較から不満を感じることでと言える。また、剥奪感の解消について、個人の責任に帰する以外の方法を集団として議論していく必要があると考えられる。（二九六字）		

正解・解答例

教科・科目名	国語（前期日程試験：令和7年度） 2 / 2	問題番号	K 1
対 象 学 部 ・ 学科(課程)等	人文社会科学部（社会学科、言語文化学科）、教育学部（音楽教育専修、美術教育専修、保健体育教育専修を除く各専攻・専修）、グローバル共創科学部		
2 20 % 採点時の配点 40 点	問1 b 問2 ☒ A 奏せ ☐ B なかり 問3 天皇が秘蔵する唐人のものと思われる筆跡と、空海（弘法大師）の筆跡が大きく異なっていたため。 問4 日本は小国（国土が小さい国）なので、それにしただって現在（現今）の書風をいたしているのです。		
3 20 % 採点時の配点 40 点	問1 少き時（少時に）書を読ま（め）ば、能く記憶すれども、用ふる無きに苦しむ。 問2 自分の手で書き記すことをするので、忘れないですむ（忘れることはない） 問3 書物を隅々まで調べることで見落としていたことに気づき、不要と思っていたつまらない書籍も役に立ったから。		

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	国語 (前期日程試験：令和 7 年度)	問題番号	K1
対 象 学 部・ 学科(課程)等	人文社会科学部（社会学科、言語文化学科）・教育学部学校教育教員養成課程（音楽教育専修、美術教育専修、保健体育教育専修を除く各専攻・専修）・グローバル共創科学部		
出題のねらい	① 現代的な評論文を読んで、基礎的な知識、文脈を把握する読解力、論理的な思考力と基礎的表現力をみる。 ② 古文の文法および語法の知識に基づき、適切な形式での理解力・表現力をみる。 ③ 漢文の文法および語法の知識に基づき、適切な形式での理解力・表現力をみる。		
採 点 基 準 (点数は200点満点の場合)	① 配点 60% (120点) 問 1 20点 (4点×5) 問 2 20点 問 3 20点 問 4 15点 問 5 10点 問 6 35点 ② 配点 20% (40点) 問 1 6点 問 2 10点 (5点×2) 問 3 12点 問 4 12点 ③ 配点 20% (40点) 問 1 10点 問 2 15点 問 3 15点		